

全 員 協 議 会 記 録

令和6年5月24日（金）
10時07分～11時24分
全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長

肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、村武議員、川上議員、
柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、
永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

〔執行部〕

久保田市長、砂川副市長、岡田教育長、山根総務部長、草刈教育部長

〔事務局〕 下間局長、松井次長、大下書記

【開会前：全国市議会議長会・中国市議会議長会 表彰の伝達】

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 令和6年度浜田市総合防災訓練について (総務部)
- (2) 浜田市内県立高校3校共同寄宿舍（男子）の運営状況について (教育委員会)
- (3) 石見神楽の保存・伝承に向けた検討について (教育委員会)
- (4) その他
- 2 議会運営における留意事項について（一般質問の時間・議案質疑の回数変更等）
- 3 市議会ホームページ等における議会情報の公開について
- 4 災害時における議員安否確認等の情報共有訓練の実施について（浜田市議会防災訓練）
- 5 はまだ議会だよりの「委員会活動レポート」について
- 6 その他
 - (1) 自由討議について
 - (2) 議会運営委員会主催 議員研修会について
(日時：令和6年6月11日（火）13時30分～15時30分 場所：全員協議会室)
 - (3) その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 07 分 開議]

○議長

ただいまから令和6年5月24日の全員協議会を始める。本日は芦谷議員から欠席の連絡を受けている。また、沖田議員から遅れると連絡があった。市長におかれては出張先からこちらに向かっており少し遅れるとのことである。したがって議題の順番を変更し、最初に議題2から行い執行部報告事項は市長が来られてから行いたいのでよろしく願います。

2 議会運営における留意事項について（一般質問の時間・議案質疑の回数変更等）

○議長

資料2を見てほしい。議会運営委員会を経て一般質問の時間と議案質疑の回数の変更が決定した。その周知と、改めて議員に共通認識を持ってもらいたいことについて説明したい。

（ 以下、資料を基に説明 ）

この件について議員から質問等はあるか。

○佐々木議員

議案質疑の上の段、変更後の黄色い枠の中で、委員会付託が予定されている所管委員会の委員は、市長等の考え方・方針をただす場合のみ本会議で質疑を行い、詳細な質疑は委員会で行うとある。所管でない委員会の場合もあるが、その場合も配慮するのか。

○議長

その場合、質疑する場はそこしかなく委員会で意見が言えないので、委員会外の方は質疑されて結構である。

ほかにないか。

（ 「なし」という声あり ）

次に移るが、議題3は少し長くなるため議題4を先にしたい。

4 災害時における議員安否確認等の情報共有訓練の実施について（浜田市議会防災訓練）

○議長

資料4を見てほしい。令和4年12月に浜田市議会BCPを策定し、定期的な防災訓練を実施し災害対応に対する意識醸成と対応行動の習得を図ることとしている。この後執行部の報告事項で、6月2日に浜田市総合防災訓練が実施される説明があるが、そのことに併せて議員全員を対象とした安否確認と、支援本部員のみ対象とした、浜田市議会災害等対策支援本部の招集についてLINEを活用して行いたい。これはLINE WORKSではなく各自のスマートフォンにグループLINEを作っているの

で、スマートフォンのLINEで行う。LINE WORKSについては全議員のスマートフォンに入っているとは限らないため、LINEで行いたい。

6月2日の訓練の最中かもしれないが、午前9時前後に私からLINEでメッセージを送信するので、議員は安否の返信を速やかにお願いします。返信内容については当日私からこれとこれという形で情報を求めるので、その点についてだけ返信してほしい。よろしくお願いします。この件について議員から質問等はあるか。

○布施議員

6月2日は町内で集合して避難場所へ行く予定だが、私は責任者をしている。議長は速やかにと言われたが、ちょうど移動最中であるなど難しい場合があるかもしれない。返信は丸ばつ方式か、それとも自分で文字を打って返すようなものか。

○議長

文字で打って返してもらおう形になろうかと思う。このタイミングでやろうとしたのは、まさに布施議員が言われたとおりで、町内会で防災訓練を行っている最中、もちろん災害発生時はそういうことが想定される。自分自身の避難や住民と一緒に避難しているときに気付いたことなど、見かけたときで良いので、それも踏まえてこの時間に設定しているので問題ない。

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

市長がまだ来られてないので、議題5を先にやる。

5 はまだ議会だよりの「委員会活動レポート」について

○議長

議会広報広聴委員会、村武委員長。

○村武議員

はまだ議会だより（以下、議会だより）の委員会活動レポートについて、皆にご理解をお願いしたい。日頃から広報広聴活動に全議員の協力をいただいていることを感謝する。現在議会だよりにおいて委員会活動レポートというページがある。現在もほとんどの委員会から活動報告などを上げてもらっているが、議会だより74号、令和6年9月発行になるものから、原則全ての委員会について委員会活動レポートを掲載し、原稿を各委員会で協議して作成していただくことを、議会広報広聴委員会において協議し決定した。今までは議会広報広聴委員会の各委員会委員が記事を書いていた。その内容も、何について書くかもその委員に任せていたが、それらを含めて委員会でまず協議して、記事を書いてもらいたい。議会広報広聴委員以外の方に書いてもらうことも可能である。そこを皆にご理解いただき、今後ご協力をいただきたい。

○議長

ただいまの件について、確認しておきたいこと等はあるか。

(「なし」という声あり)

もうすぐ市長が到着するとのことなので、議題1に入りたい。

1 執行部報告事項

(1) 令和6年度浜田市総合防災訓練について

○議長

総務部長。

○総務部長

(以下、資料を基に説明)

(市長着席)

○議長

ただいまの件について、議員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(2) 浜田市内県立高校3校共同寄宿舍（男子）の運営状況について

○議長

教育部長。

○教育部長

(以下、資料を基に説明)

○議長

ただいまの件について、議員から質疑はあるか。

○川上議員

浜田市は4月16日に山陰中央新報に対して訂正記事の掲載を要請されている。このことに関して4月23日までに回答を求められたが、回答はあっただろうか。

○教育部長

訂正記事の紙面への掲載はされてないと認識している。

○川上議員

ということは、山陰中央新報としては間違っていないと認識していたと思う。訂正依頼内容の中には、事実と異なったものであると書いてあった。どういうことが事実と異なっているのか。

○市長

記事が出る前だが、このことについては高校側からも、おかげさまで寮ができたことによって市外県外の募集枠を増やせたというお礼の電話があった。記事には無駄だったかのような趣旨で書かれているが、高校側の受け止めとは全然違うという意味で、異なっているのではないかと考えている。

もう一つは、山陰中央新報へ、しっかりと高校側のヒアリングもした上で記事を書いてほしいとお願いした。その時点では高校には一切取材がなかったと聞いている。

○川上議員

先ほど市長は、喜ばれたという表現をされた。事実、地域協議会においてもそういう表現をされていた。浜田高校の関係者からも感謝されているとのことだが、これ

は浜田高校か、それとも浜田高校を管理している県の教育委員会だろうか。

○市長

浜田高校の校長先生から感謝の言葉を頂戴し、市にお見えになってお礼の言葉をいただいた。

○川上議員

学校の管理運営について最終的に責任を負うのは教育委員会のはずなので、教育委員会からお礼があったという表現が見えなかったのも、それについてはいかがか。単に学校がお礼を言っただけだと考える。教育委員会からどういう返事があったかは聞いていないか。

○市長

先週別途国県要望のために県に伺った際、県の教育長から、そういうやり取りの中で、おかげさまで高校の寮を確保してもらったと、県としてもあいさつの中で感謝しているという趣旨の発言があった。

○川上議員

県の教育委員会から感謝という言葉があったということ、しっかり認識してもよろしいか。

○市長

先ほども言ったが会話の中であったので、感謝という言葉があったかどうかは、議事録を取るような話はなかった。ただ、感謝なのかお礼なのか、正しい言葉ははっきりしてないが、いずれにせよそういう趣旨の言葉があった。

○川上議員

きっとそのように受け止められたということで私は受け止めた。

○佐々木議員

この件について現地視察をしたり事務長の話の聞いたりして思ったのは、今回市が提供した宿舎もそれほど良いとは言わないが、現在の県立の寮の劣悪さに非常に驚いた。ほかの高校も恐らく県が設置した寮は同様だと思うが、今の時代に合った、もう少し今の子どもたちが住めるような環境をぜひ要望してもらいたい。我々も県議などを通じてそういう動きはしていきたい。あまりにもかわいそうな感じがする。

この冬も洗濯機が凍って、乾燥機もない。子どもたちはきちんと乾燥した服を着ているのかと疑問に思った。大人側、管理者の側が本来なら聞き取るのが一番だが、浜田は浜田の立場でしっかりやっていただきたいがいかがか。

○議長

先日も知事要望へ市長と一緒にいかせてもらった。その中で浜田市の要望として、3校同時に入れる寄宿舎の整備をぜひしてほしいということは、市長も私も知事に訴えている。

○市長

ただいま議長からもあったが、先般議長と一緒に県へ要望に行った。知事、県議会議長、教育長にも要望した。今回は緊急的に民間の寮を借りて5年間使わせてもら

うのだが、そもそも浜田高校の寮は男子も女子ももう50年以上経過しており、老朽化が進んでいる。かつまた基本は4人部屋のような形で、今時なかなか入寮者も厳しいのだろう。そういった中で建替えの要望を正式に出させてもらった。

ただ、知事からの回答では、現在外壁工事をやっているのだが、それが終われば15年くらい持ちそうだという話があり、建物はそうかもしれないが居住性から見るとどうなのかと思っている。一応建物については15年という話があった。今後についてどう要望していくかは改めて考えていきたい。議会からも応援してもらいたい。

○川上議員

先ほどの市長の答弁だが、少し訂正してほしい。浜田高校の男子寮女子寮については昨年以外壁整備をした。今年は内部の整備をしているので、間違えないように。

○市長

去年やったのが外壁で、今年は内部というのは承知している。申し上げたかったのは、老朽化が進んでいるので建て直してほしいと言ったら、15年くらいは持ちそうだという話があったことを伝えたかったのである。

○川上議員

このことに関しては6月定例会議の一般質問において、関連を含めてしっかり質問する。今市長から内部もという話があったが、内部を何回に分けてやっているかも含めて取り上げるのでよろしく願います。

○三浦議員

定員は32人で、今年度22人になっている理由をもう1回説明してほしい。

○教育部長

初年度で32人入れると、来年の入学時点で新たに入れられる人数の確保ができないという考えのもと、1年目で22人、2年目以降で32人という入寮数で計画した。

○三浦議員

県立高校の寮もそういう考え方で定員設定しているのか。

○教育部長

県立高校については1年から3年までのところで今までやっているの、3年生が卒業する範囲内で考えているのが現実だと思う。浜田市の部分に何年生を入れるか、もしかしたら新1年生だけということも考えられるので、そこで32人となると2年目、3年目の人数が確保できないため、最初は22人というのが当初の計画だった。

○教育長

もともと入寮生を受け入れるために、オーバーフローしてはいけないので県外から何人受け入れるかは試験前の段階で学校側が示すことになる。県内から何人来るかは分からないため、これは示せない。仮に県内から希望があった場合はそれを優先するというルールがある。全体を踏まえた上で県外に何人の枠を示せるかということをやっていく。令和6年度の入学生に対しては、学校の事情を聞いた際に市の寮がなければ一桁しか枠が設けられなかったところを、おかげさまで16人か18人で募集ができたとのことだった。そうした枠内でしか増やせない。県内が未定なので県外を増やせ

ないことを想定すると、初年度に32人全部を埋めるのはなかなか難しい状況だったので、予算上は初年度は市の合同宿舎に22人、2年度以降は32人が使うことを想定して、その収支を議会に諮って同意いただいたので、それに沿って話をして今22人が入っている状況である。

○三浦議員

確かに予算は22人だったと思う。オーバーフローしないために初年度は32分の22人にするという説明だったでしょうか。

○教育部長

はい。実際、10人分について備品整備は今年度のところで来年間に合うように整備すると考えているので、予算もそういう形に整理してある。

○川上議員

訂正しておく。島根県は浜田高校に対して、県外・海外からの募集定員は16人と決まっている。16人を限度としていることだけ報告しておく。したがってそれをオーバーすることは基本的にあり得ない。

○三浦議員

浜田高校が県外学生をどれだけ取るかは、前に一般質問で取り上げたときにも、令和6年度はこの人数と決まっているのでそれ以上の人数は取らないということは確認しているのですが、それが16人以上でないというのは理解している。それも踏まえて、当時教育長は、県外からどれだけの人を取ってくるかは令和7年度以降に議論していくという話だったと思う。その理解で合っているか。

○教育長

寮を整備する段階というのが、確かに今定例会議の予算と関係あるが、県外枠を何人にするかは学校側が秋口には決める必要がある。現状から考えて令和6年度については16人だが、将来的に何人できるかは今後の空き状況や、学校側の方針などを基に変えていけるので、令和7年度は16人より枠を増やすのは十分可能だと思う。令和6年度は16人で決まっていて、これ以上増えても入れられないというルールがあるようである。

○議長

先ほど説明されたように、令和6年に浜田市が整備しなければ県外枠は5人くらいで収まっていたところ、整備したことによって16人募集できたという答弁でよろしいか。

(「はい」という声あり)

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(3) 石見神楽の保存・伝承に向けた検討について

○議長

教育部長。

○教育部長

(以下、資料を基に説明)

○議長

ただいまの件について、議員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(4) その他

○議長

執行部からほかに報告事項があるか。副市長。

○副市長

前回3月18日の全員協議会において川上議員から、平成30年4月の簡易水道の上水道事業への統合の際に、金城地域の上水道施設用地の未登記を認識しながら、そのことを隠ぺいしたのではないかという指摘をいただいた。このことについては私のほうから調査して報告すると申し上げていたので、本日その調査結果を報告する。

まず当時の経緯だが、簡易水道事業の上水道事業への統合に当たって台帳整理を行う過程で、上水道施設の用地において未登記のものがあることが分かったことから、平成30年度から令和2年度にわたって調査を継続し、一部未登記のものを整理している。このたびの指摘を受け、当時の関係職員に公表に関する認識と作業が中断した経緯を中心に聞き取り調査等を実施した。

まず公表については平成30年度当時、調査の状況を踏まえいずれかの段階で公表するという共通認識を持っており、実際に課題解決に向けて作業を継続されていたことから、本件そのものを隠ぺいしようとする意思はなかったと判断した。

次に作業については、もともと管理課において本件に関わっていた担当者が工務課に異動になった後も引き続き作業に当たっていたことにより、本件の所管が管理課と工務課の間で曖昧になってしまい、当初管理課において引き継がれていたものの、令和3年度以降に引継ぎがなされなくなり、担当者の退職と共に作業も中断する結果になった。本件の処理に当たっては、きちんとした引継ぎがなかったことが反省点だったと思っている。

現在上下水道部において改めて市内全域を対象に上水道施設用地の調査を行っている。今後調査結果に基づいて施設用地の未登記等については随時処理し、その状況は皆にも報告させてもらいたい。

○議長

説明が終わった。質疑はあるか。

○川上議員

内容は分かった。大事なのは引継ぎをやることである。引継ぎ書は情報公開で見させてもらったが、完全に抜けている。それを確認している上部の方々が抜けていたということだと思う。担当者だけでなく、その上司ら、そして最終的には市長公室まで行くはずなので、しっかり確認されるようお願いする。

○副市長

このことについては引継ぎをきちんと上にも上げて、上がそれを踏まえてまた引継ぎすることは当然やらなければいけない。その部分を個人に任せていた状況は問題があったと思っている。反省して今後しっかり対応できるようにしたい。

○議長

はい。それでは、ほかにないか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、ここで執行部は退席されて構わない。準備があるので、ここで暫時休憩する。

[11 時 57 分 休憩]

[11 時 02 分 再開]

○議長

全員協議会を再開する。

3 市議会ホームページ等における議会情報の公開について

○議長

現在ホームページにどういった内容が掲載されているか、特徴的なものについて事務局から説明してもらおう。市民への説明時や議員活動に活用してもらいたい。

○下間局長

資料3を見てほしい。

(以下、資料を基に説明)

○議長

浜田市議会のホームページはかなり充実している。これも事務局がしっかりしていないとできないことだと思うので、事務局に感謝してもらいたい。

この件について議員から質疑等はあるか。

(「なし」という声あり)

6 その他

(1) 自由討議について

○議長

議員間で自由討議を行いたい案件が何かあるか。

(「なし」という声あり)

では今回は自由討議なしとする。

(2) 議会運営委員会主催 議員研修会について

○議長

事務局長。

○下間局長

資料はなく、本日のレジュメに記載しているが、6月11日火曜日午後1時半から、全員協議会において議会運営委員会主催の議員研修会を開催するので、皆忘れずに集まってもらいたい。これについては議員派遣の手続きを取るなので、現在のところ欠席の報告は受けていないが、急きょ欠席される場合は必ず事務局へお知らせいただきたい。高沖先生には以前にも来ていただいたが、議会運営の諸課題について講演していただくのでよろしく願います。

○議長

この件について議員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

(3) その他

○議長

議員から何かあるか。

○布施議員

神楽議員連盟のおもてなし神楽、新年度になり、先ほど行政視察についてホームページで紹介があったが、4月11日に徳島県小松島市、4月24日に青森県八戸市、一昨日5月22日北海道札幌市、来週5月29日岩手県一関市の視察受入れにおいて、おもてなし神楽を実施する予定である。行政視察に来られてエレベーターが開いた瞬間、郷土芸能である石見神楽でおもてなしすることに非常に感銘を受けて、視察以上に感動しておられる。議員皆神楽議連に入っておられるので、ここをやってみたいという方は自分から手を挙げてほしい。歓迎するのでぜひやってもらいたい。

また、総会の際に言わせてもらったが、会員の会費を納入いただくように、会派内でまとめてもらいたい。

○副議長

そのように一応会費をいただきながら、できるだけ早く恵比須面を購入して議連のものとして視察の際に出迎えて、しっかり浜田の印象を高めたい。

また先ほど事務局長が言ったように、神楽経験の有無に関係なく恵比須をぜひ舞ってみたいという方がおられれば、短期で、30分程度でも教えることも可能なので、皆前へ向いてぜひ協力をよろしく願います。

先ほど言わなかったが、今日24日に第1回目の神楽伝承内容検討委員会が開催される。この開催に当たってはすでに皆にプロポーザルの考え方など資料を配信している。その中で事前に執行部と伝承室長以下、月一でやる約束の懇談会をして、今日の会議でどういったことをメインにしっかりやってほしいということはきちんと伝えている。特に伝えているのは、建物ありきではないことと、伝承内容をしっかり吟味してほしいのだが、見えるところだけでなく見えないところの文化伝承もしっかりと、内部で忌憚のない意見を話してもらいたいと、内容の濃い事前の話をさせてもらっている。

必要に応じて皆とこういった議論をしっかりしていきたい。まずは今夜の会議を見守りたい。私も行きたかったが今日は地域井戸端会が入っているため、手すきの方は傍聴も可能なので行って見て話をぜひ聞いて帰ってほしい。よろしく願います。

○議長

そのほかにないか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、これで全員協議会を終わる。

[11 時 24 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 笹 田 卓